



Evans

EVANS PICKUP
MADE IN CANADA

PICKUP CONFIGURATION



2H

フロントにE2-R、リアにはE2-HLのマウントがベストを組み合わせると、E2はそれぞれフロント/リア用という専用の設計構造になっており、チョーキングによるフレッドアウトの防止、フロント/リアの音量バランスを容易にすることが出来る。また、従来のハッシュハムバッキングではトップの共振でノイズが急増してしまうが、この"E2"ではそのようなことは無く、常にクリーンなサウンドを得ることが出来る。



SSH

フロント、センターには高級よりもやや中域を強調しているE1-HR、リアにはE2-CLの組み合わせが最適な。また、ペンタトーン・テイスのシングル・ハーフトーン・サウンドを多用するプレイヤーには、リアのE2-CLをスイッチによるタップ切替が可能のようにワイヤリング。センターにはE1-Rをマウントすることにより対応できる。さらにフロントPUをレバー-SWのセレクトとは別にON/OFFが可能スイッチを設置すればフロントセリア(クッパ・フル・クマーン)のロックや、フロント/センター・リアも同時に鳴らすというリレーションも可能になる。



ELIMINATOR-1

E1-CL (クラシック・リード) ¥13,000
E1-HL (ホット・リード) ¥13,000
E1-R (リズム) ¥13,000
E1-HR (ホット・リズム) ¥13,000



3S

最もベーシックな配列だ。ヴィンテージなサウンドを求めるならフロント、センターにE1-R、リアにE1-CLをマウントする。いくぶん普通のシングル・コイルよりレベルは上がるが、サウンドはブライク、クリーンで逆にノイズは減少する。オーバードライブ・サウンドのリードなど多用する場合はリアにE1-HLをマウントすればヴィンテージ・クッパのサウンドよりもワウフルでファットなサウンド・メイクを求めるプレイヤーに最適だ。いずれの"E1"もハムバッキング構造になっているのでノイズはほとんど皆無で、シングル・コイル・ピックアップの持つレスポンス、グリーンな音色は少しも損っていない。



HSH

エリミネーターIならこのような配列にしても、あらゆる組合せでノイズの問題はまったく無い。タップSWのセレクトで3Sのセンターになる。また、フロントリアのクッパSWをそれぞれ独立して設定することによって、さらにさまざまなクッパ・コク・カム・シェンに適合サウンド・メイクが可能だ。



ELIMINATOR-2

E2-CL (クラシック・リード) ¥20,000
E2-HL (ホット・リード) ¥20,000
E2-R (リズム) ¥20,000